

定型回答

No	分類	質問	はい	いいえ
Q1	【環境・体制整備】	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4
Q2		利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4
Q3		生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	3	3
Q4		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0
Q5		必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0
Q7	【業者改善】	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0
Q8		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0
Q9		職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0
Q10		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0
Q11		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0
Q13		適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0
Q14		個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0
Q15		個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0
Q16		個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0
Q17		子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0

【適切な支援の提供】	Q18	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0
	Q19	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0
	Q20	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0
	Q21	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0
	Q22	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0
	Q23	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0
	Q24	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0
	Q25	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0
	Q26	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0
	Q27	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0
Q29 Q30 Q31	Q29	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0
	Q30	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0
	Q31	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1

Q32	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1
Q33 【関係機関や保護者との連携】	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2
Q34	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2
Q35	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1
Q36	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1
Q37	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0
Q38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0
Q40	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0
Q41	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0
Q42	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0
Q43	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0
Q44 【保護者への説明等】	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0
Q45	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0
Q46	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0

Q47	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0
Q48	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0
Q49	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2
【非常時等の対応】	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	4	1

自由回答

No	質問	質問
Q6	【環境・体制整備】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。	
-	無理を承知でいうならもう少しスペースが広くあるといい、人数は変わらずでいいと思うが子どもたちがのびのびと身体を動かせられる環境(2部にわけるとしたら職員の配置等)もう少し広く多く取れると嬉しい。	
	→季節や天候、時間帯にもよるが、なるべく外に出るなど思いきり身体を動かせるように予定を組む。	
-	スタジオですが、高学年の有酸素運動に必要な広さがあると尚良いと思います。	
	→時間帯や職員配置に合わせて外で遊ぶなど、工夫をする。	

-	広さ、エアコンが効かない時がある。雨漏りについて改善が必要。 →広さは変えられないが、設備の不備に関しては関係機関と連携して対応する。
-	職員配置に関して適切ではあるが、時間帯で足りないと感じることがある。 →引き続き活動の時間を分けるなどの工夫をしていく。
Q12	【業務改善】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	研修がたくさんあり、用意をする職員の方は大変だと思うがこちらとしてはすごく助かっている。いつもありがとうございます。 こここの事業所オリジナルの研修があり、方向性の統一を図っている。 人材に合わせた仕事を割り振っていて良いが、業務の比重が異なることもあり改善が必要
Q28	【適切な支援の提供】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	通所自立支援等、お子さんの発達段階に合わせてチャレンジできる環境を整えている。 児童発達と放課後デイサービスを職員が行き来することで、お互いの良いところを取り入れられていて良い。 それぞれの施設で考え方も異なるため、関わり方の切り替えに課題を感じる。 →両施設に関わっているからこそ接し方の違いに戸惑うところもあると思うが、両施設の配置により様々な支援の考え方を知ることが出来る良い機会と捉えて頂けると良い。
Q50	【保護者への説明等】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	事業所をご利用にあたり、利用システムが保護者に適切に伝わっているか不安に感じる。 →安心安全に利用して頂くためのシステムであることを職員が理解し、保護者へ理解頂けるよう引き続きコミュニケーションを図る。
Q60	【非常時等の対応】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	放課後等デイサービスの方ではないが、児童発達と上下しているとどちらかの訓練のみにしか参画できず、 もう片方のマニュアル等分からない時がある。どちらも経験したいと思う。
-	研修を定期的に行う事で職員のスキル向上に繋げている。研修頻度が多いと感じる時期があった。 →非常時の訓練は、積極的に参加していただきたい。 福祉事業所としての必要な研修もあり、時期により重なることもあるがスキルアップのために必要とご理解いただきたい。